

コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

発行所 加西市立総合教育センター

加西市北条町古坂1173-14 TEL 0790-42-3723

第25号

★今月の紙面★

- ①子どもを伸ばす教養講座の案内
- ②加西市子ども会育成連絡協議会の関連記事
- ③教育相談窓口の案内
- ④北条節句祭り特別巡回補導の実施と補導日誌
- ⑤コラム「喜びの種をまき花を咲かせよう」



研修講座のようす

総合教育センター研修講座 子どもを伸ばす教養講座

— 受講者募集のご案内 —

育センターで、受講料は不要です。多くの方のご応募をお待ちしています。

第2回以降の講座は、次のようなテーマを予定しています。日時や講師が決まりましたら連絡いたします。

- 思春期の心の理解
- 子どもの健康を守る食育
- 親子で作ろう手作り絵本
- 子どもの発達と保育の在り方

※講座ごとに申し込みを受け付けます。申込締め切りは、講座開催予定日の10日前です。また、5回通して申し込みこともできます。なお、希望者が多い場合には人数を制限することがあります。ご了承ください。

では、平成24年度から、一般市民を対象にした「教養講座」を開設しています。昨年度は、加西市の歴史や読み聞かせについて、3回の講座を開きました。今年度は、「子どもを伸ばす教養講座」と名称を変え、年5回開催します。

第1回の講座は次のとおりです。

○ 第1回 6月1日(土)
13時30分～15時00分

「子どもの集団ゲーム指導」
生涯学習サポート兵庫
榎本英樹氏

受講を希望される方は、総合教育センターまでお問い合わせください。会場は総合教

加西市子ども会 育成連絡協議会総会

平成25年度加西市子ども会育成連絡協議会総会が、4月5日に市民会館小ホールで開催されました。事業報告、決算報告、役員改正案、事業計画案、事業予算案等について審議が行われ議決されました。



総会のようす

本年度の役員を紹介します。(敬称略)

- 会長 前田敏和(下里)
- 副会長 荒瀬直樹(北条)
- 計 山下真吾(富合)
- 山名 太(北条東)
- 教育部長 貝間正倫(富田)
- 副 前田敏和(下里)
- 文化部長 梶原克祥(泉)
- 副 岸本好弘(賀茂)
- 体育部長 後藤 真(九会)
- 副 杉井一裕(日吉)
- 幹 前川一章(西在田)
- 事 繁田浩一(宇仁)

○平成25年度事業計画

- 6月2日(日) 9時～ 市子ども会将棋大会
- 7月中旬 親善球技大会予選(校区毎)
- 8月4日(日) 市親善球技大会
- 9月8日(日) 市オセロ大会
- 平成26年2月8日(土) 『雪』体験ツアー

市子連主催 子ども会将棋大会

加西市子ども会育成連絡協議会では、思考力、判断力、推理洞察力の育成と仲間づくりの一環として、毎年小学生を対象に将棋大会を開催しています。

第28回 加西市子ども会将棋大会
○日時 平成25年6月2日(日) 9時～12時

○会場 加西市民会館小ホール
○対象 市内の小1～中3 小学生低学年、小学生高学年、中学生の3部に分かれて実施

※申し込み 名前、学校、学年、住所、電話番号を明記の上、事務局までFAXで申し込んでください。電話でも受け付けます。
《締め切り》5月17日(金)

教育に関するご相談がありましたらお気軽にご相談ください!

【教育相談窓口】(予約制)

TEL 42-3730

- 特別教育相談(臨床心理士) 毎週木曜日 9:00～17:00
- 発達支援相談(7トハイザー) 毎週水・金曜日 9:00～12:00
- 夜間相談(要問い合わせ) 毎週火・金曜日 18:30～20:30
- 一般教育相談 予約不要 月曜日～金曜日 9:00～17:00

節句祭り特別巡回補導

加西市青少年補導委員連絡協議会

今年も4月6日(土)、7日(日)の両日、恒例の北播磨最大の祭り、「北条節句祭り」が住吉神社を中心にして盛大に開催され、2日間で延べ60名の補導委員による特別巡回補導が実施されました。

第1日目は、強風と雨にたたられて夕方には店も閉まり、参拝客等も少なくなつたことから予定より早く補導活動を終わりました。



節句祭り巡回補導風景

第2日目の日曜日は、気温が低く風も強かつたものの、前日の雨も上がり2日分の熱気に包まれた祭りとなりました。そんな中、各小学校区の補導委員は、午後0時30分から時間帯を分けて午後9時過ぎまで住吉神社を中心に周辺の量販店なども含めて巡回補

導活動が行われました。夜になると祠の裏や路地など暗い所で喫煙や飲酒する青少年も見られることから、重点的に巡回されましたが、大きな事案もなく無事に終了しました。

補導委員は、青いベストと帽子を着用して巡回することによって、地域の青少年が健全に育つことを喜びや誇りに思つて活動を続けていただいています。これからも地域の青少年が健やかに明るく育つていくように、ご尽力いただきますようお願いいたします。

補導日誌

宇仁小学校区補導委員理事

繁田 豊作

宇仁小学校区では、各町より推薦された6名の補導委員が2班に分かれて毎月2回、主に日曜日の夜、青野運動公園や各町内において、そして時には北条地区にまで足を伸ばして巡回補導活動を行っています。地域の子ども達は、保護者や地域の人々の温かい

目に支えられて明るく素直に育っており、今のところ大きな問題はありません。

校区内は田畑が多く、自動販売機設置箇所も数カ所、子ども達がたむろするような所はありません。しかし、飛躍的に進歩する情報化社会の中で、徐々にインターネットなどの情報が浸透してきており、それらの被害に遭わないか、また、加害者にならないかと心配される場所です。



宇仁小校区の補導委員の皆さん

さらに通学路を見ても寂しい場所を通らざるを得ない児童もおり、この子たちが被害に遭わないように巡回を強化する必要も感じています。

これからも、「地域の子どもは地域で守る」を合い言葉に6名が一丸となって子ども達がすくすくと成長することを願つて活動していきたいと思ひます。

喜びの種をまき

花を咲かせよう

「人のために何かをしたい」「みんなから必要とされる人になりたい」といった欲求は、誰しもあります。ところが、生活や時間に余裕がなくなると、自分さえ良ければいい、他人なんてかまっていられない。そういった風潮が強くなり、安易な理由やその場の雰囲気の流れされて、他人を傷つけたり、迷惑をかけるなど、自己中心的な事件や事故が多く発生するものです。

ある雑誌に、財産がなくて大きな事ができなくて、人は日常のささいな行いによって、喜びの種をまき(人を幸せにでき)、花を咲かせる(自分を成長させる)ことができるという以下のような話が載っていました。



だった。ある時一人のお坊さんから「無財の施し」の話聞いたが、「でも、私にはこんな身体で人に与えられるものなんかはない」と言った。お坊さんは言った。「あなたにも与えられるものがある。人にもしてもらったら、手を合わせて、ありがとうと言えよ。言われた人はきつと喜ぶ。感謝の一言で喜びの種をまくことができる。」おばあさんは涙を流して喜んだという。

人は自分に自信が持てなかつたり、人に迷惑をかけてばかりいると思うと、やりきれない思いになることがあります。しかし、「ありがとう」という感謝の一言や相手をいたわる言葉かけによって、相手をいやしてあげたり、勇気づけたりすることができます。

そのおばあさんは寝たきりで、すべて人の手を借りる暮らした。そんな自分が不甲斐ないのか、世話を受けながらいつも不機嫌